

令和4年度事業計画書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

主たる事務所の所在地	都城市吉尾町 473 番地の1
名 称	一般社団法人霧島工業クラブ
代表者氏名	代表理事 東郷 彰

1 事業方針

令和3年度は、世界にとって未曾有の災厄ともいえる新型コロナウイルスとの闘いが3年目に突入し、2月24日にはロシアによるウクライナ軍事侵攻がはじまり、苦難の1年でした。新型コロナウイルスは、令和3年12月にオミクロン株が出現し、現在は派生型「BA. 2」が過半を占めるようになりましたが、感染力は強いものの重症化率はこれまでとあまり変わらないことから、ワクチンの3回目接種を加速し、海外メーカーや塩野義製薬の飲み薬が普及すれば、英国や米国同様に、新型コロナをインフルエンザと同等とみなす「ウィズコロナ」で、経済・社会活動を進め、水際対策の緩和による人の往来の活発化で回復に向かうことが期待されています。

また、ロシアによるウクライナ侵攻に対し、国際社会はロシアの暴挙を止める国際連携の結束を強化し、主要7カ国(G7)や北大西洋条約機構(NATO)は対ロ制裁とウクライナへの軍事・人道支援を強化する方針を打ち出しており、停戦を実現できれば、ウクライナ情勢が安定することが期待されますが、エネルギー価格の上昇やサプライチェーンの混乱による物流停滞に伴う部品調達難等の懸念がでてきており、先行きは不透明であるため今後の動向を注視していきたい。

米国では、令和2年の大統領選挙で勝利した民主党のバイデン大統領が、令和4年11月18日に行われる米国最大のイベントである中間選挙を迎え、日本では、菅政権から岸政権へ政権が移行し、令和4年の夏に参議員議員通常選挙が行われる予定です。これらの選挙結果によっては、今後の経済や金融政策が大きく影響を受けることも考えられ、政治情勢にも目配りしたい。

一方、県内では、県内全区間の令和6年度開通が決まった都城志布志道路は日々延伸され、都城インターチェンジ(IC)近くには今年、工業団地が完成し「医療・防災・経済の道」の期待が高まっています。また、4月には都城市街地では事業を担うセンターシティが総額37億円をかけた一大事業である民間複合施設の TERRASTA (テラスタ) が4月に開業します。物産振興拠点として23億円が投じられ、防災道の駅に指定されている道の駅「都城」(愛称・NiQLL=ニクル)は、令和5年春に開業予定です。令和7年完成予定の県陸上競技場は造成がほぼ終了し、令和9年の国民スポーツ大会(国スポ)では会式会場となり、南海トラフ地震発生の際は後方支援基地の役割を担います。西諸圏域を見渡すと、えびの市ではえびのICそばの産業団地で企業誘致が本格化し高原町は地域商社立ち上げを目指します。いずれもコロナ後の地域活性化を図る環境整備と言えるでしょう。このように、県内各地でインフラや市街地の新しい中核施設が整備され、活性化されることが期待されています。

当クラブでは、このコロナ禍だからこそ、これまで以上に、都城高専との技術協力や産学共同研究を推進し、都城高専同窓会「深山会」との連携によるUIJターン受入推進、産学官金交流会、合同企業説明会等の開催や都城高専就職支援講演会への講師派遣、インターンシップの受入促進等に加え、昨年同様、都城高専が全国51校の幹事校となって推進する「モンゴル高専生の

日本におけるインターンシッププログラム」への協力並びに雇用促進の支援を行ない、行政、企業及び都城高専との産学官金連携を強化してまいります。

令和4年度も、地域におけるプレゼンスを高め、今後さらに会員同士の情報交換を密にして、経営力向上につなげ、地域経済の振興を目指し、また、地域の活性化に寄与していきたいと存じますので、今年度も会員の皆様のご協力ご支援を何卒よろしくお願い致します。

当クラブでは、都城高専を核とし、会員企業の技術力向上や経営基盤の強化、産・学・官協力体制の確立等を図るため、次のような事業を実施します。

- (1) 「モンゴル高専生の日本におけるインターンシッププログラム」への協力並びに雇用促進の支援
現在、モンゴルには国立科技大付属高専、モンゴル工業技術大学付属高専、新モンゴル学園高専の3校があり、都城高専がモンゴル国協力支援幹事校として、日本におけるインターンシップの実施を計画中であることから、モンゴル高専生のインターンシッププログラムの受入先として協力し、また雇用の促進を支援する。
- (2) 地域連携テクノセンターの活用による地域活性化の推進
都城高専と地域企業との技術協力・共同研究の推進を図る
都城高専新卒者及びコロナ拡大で増加する都城高専既卒者（UIJ ターン希望者）を会員企業へ紹介することにより地域活性化を図る
- (3) 例会の充実
講演に引き続き懇親会を開催し、人的交流を深める
県内外企業訪問及び交流懇談会開催
- (4) 産学官の緊密なネットワークづくり
都城高専・南九州大学・宮崎大学をはじめ九州沖縄農業研究センター、宮崎県工業技術センター、宮崎県食品開発センター、宮崎県木材利用技術センター、宮崎県総合農業試験場などの教育機関・公設試験場や宮崎県及び都城市、宮崎県産業振興機構、都城商工会議所などの産学官ネットワークをさらに緊密なものにしていく
 - ①. 都城圏域産学官金交流会の開催
 - ②. 都城高専のロボコン・KOSEN EXPO 支援やおもしろ科学フェスティバル後援
 - ③. 都城高専が促進するさくらサイエンス事業等の国際交流事業への協力支援
- (5) 組織の充実
新型コロナウイルス感染拡大の影響を最小限にし、現状の会員企業55社を維持する

2 事業内容

- (1) 産学官連携による各種プロジェクトの推進に関する事業（定款第4条1）
 - ①. 都城高専と地域企業等の技術協力・共同研究の推進
都城高専と地域企業等の連携の橋渡し役として、技術協力・共同研究を推進する
- (2) 工業振興施策の推進及び提言・要望に関する事業（定款第4条2）
 - ①. 都城圏域産学官交流会の開催
都城圏域企業、大学、高等学校、高専、専門学校、職業訓練校、宮崎県、都城市の関係者等に呼び掛け意見交換および交流を行う
実施期日：計画中、場所：ホテル中山荘予定

(3) 各種講演会及び研修会に関する事業（定款第4条3）

①. 特別講演

各界から講師を呼び例会等の機会に特別講演を行う
（例会時に実施）

②. 都城高専研究シーズの紹介

都城高専と企業との技術協力・共同研究の促進の為、都城高専研究シーズを企業へ紹介し、
企業ニーズとのマッチングを図る

③. 都城高専第2回地域交流・研究発表会共催

都城高専が学外者を招いて開催する都城高専第2回地域交流・研究発表会を協力支援し、
会員企業等に対し専攻科生の研究発表会への参加を促進し、優秀な発表を行った専攻科生
を表彰する

(4) 会員企業見学会及び先進企業視察に関する事業（定款第4条4）

以下の工場見学・企業視察研修会を実施する

- ① 宮崎日機装産業用特殊ポンプの工場・医療機器の研究研修施設【宮崎市高岡町】
- ② 株式会社松尾宮崎【都城市高城町】

(5) 関係機関・団体との連携協調に関する事業（定款第4条5）

- ① 視察・意見交換会・交流会などの受け入れ
今年度も多くの機関団体と連携をしていく
- ② 都城高専、宮崎大学、南九州大学学生のインターンシップ実施
協力企業を募集し実施（7～8月）
- ③ 宮崎大学と県が推進する地域定着事業への協力
- ④ 都城高専就職支援講演会への講師派遣
- ⑤ 都城高専との合同企業説明会の共催
- ⑥ 都城高専4年生校内研修開催のための講師派遣

(6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条6）

「創立30周年記念事業」

*新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、次年度以降に延期